

自主研修を終えて

3日目は、長崎市内の自主研修でした。

スタートは、大浦天主堂を左手に見ながらグラバー邸を全員で訪れ、学級写真撮影をしました。学級写真を撮った直後から雨足が強まり、そのまま1日降ったり止んだりのぐずついたお天気でした。

どの班も札幌とは異なる街の雰囲気や、長崎に暮らす方々の思いやりやあたたかさに触れ、ハプニングも含めて充実した自主研修となったようです。4人のレポートを紹介します。



私たちの班では、最初に眼鏡橋に行くはずでしたが、道がわからず困っていました。その時、長崎の方が私たちのところへきて、「困っているの?」と聞いてくださりました。私たちが道に迷っていることを伝えると、「じゃあ私についてきて」と言って、眼鏡橋までつれていってくれました。

私は自主研修で長崎を堪能しただけではなく、長崎市民の方々のやさしさに触れられてよかったです。

A.H.



今日はあいにくの雨となり、私たちの班では大幅な変更が必要でした。グラバー園からの出発の時点で、レインコートや傘を取り出さなければならぬくらいの雨が降り、地図が濡れて破れるなどとても大変なスタートでした。しかし、そのような状況の中でも、街で長崎の方に道を尋ねたり、班の仲間と進み方を考えたりすることで、仲良くなることができました。私たちはこの自主研修で、今まで挑戦することのなかった街の人との会話や、ピンチになったときに助け合うことの大切さを学びました。

T.I.





今日は待ちに待った自主研修がありました。

僕の班では、雨のため、徒歩での移動から市電を使った利用に変更したり、予定を削ったりしました。おかげで時間に余裕ができたはずでしたが、ゆっくり移動したせいで集合時間ぎりぎりになって雨の中を走るようになってしまいました。

その中で、サント・ドミンゴ教会跡資料館に向かう途中で、どのように行くのかがわからなくて困っていたら、信号待ちをしていた男性の方が声をかけて下さっただけでなく、その場所まで一緒にあるいて連れて行ってくれました。他の班でも、市電の中でどこで降りればいいのか話し合っていたら、となりにいた年配の方が親切に声をかけてくれた、ということがあったそうです。さらに他の班でもこのようなことがたくさんあったようで、長崎の方には親切な人が多く、僕たちは長崎の方のやさしさにたくさん触れることができたと思いました。

T.O.



私たちの班では、中華街、眼鏡橋、出島、長崎駅など、かなり王道スポットに行きました！時間に余裕をもって行動することができ、予定にはなかったけれど、事前にガイドブックで見えていた一二三亭というところでおじやを食べたりしました。

長崎の方々はみなフレンドリーで、ほとんどの店員さんに「どっからきたの？」などと話しかけていただき、たくさんおしゃべりができました。また、みなさんととてもやさしくて、班内で「これであっているかな」と話していたら教えに来てくれたり、「写真とろうか？」と声をかけて下さったり、両手が荷物でいっぱいだったときには席を譲ってくれたりしました。どのような人と話しても、「札幌からきました」というと、ほとんどの人が「ラーメン！」と言っていて、そういうイメージなのかな、というのが知れて面白かったです。

M.N.

